



各 位

JASDAQ

平成 29 年 7 月 18 日

株式会社アイデアインターナショナル
代表取締役社長 森 正 人

(コード番号：3140 JASDAQ)

問合せ先：取締役経営情報部長
松 原 元 成
(TEL 03-5446-9505)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 15 日に開示した、平成 29 年 6 月期（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 6 月期の業績予想数値の修正（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,700	340	274	264	22 円 17 銭
今回修正予想 (B)	7,209	401	324	292	23 円 16 銭
増減額 (A-B)	△490	60	49	27	—
増減率 (%)	△6.3	17.6	17.9	10.4	—
(参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月期)	6,160	182	148	223	37 円 85 銭

(注) 平成 29 年 6 月 1 日付で、株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っており、平成 29 年 6 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算出しております。

(ご参考：利益率について)

	営業利益率	経常利益率	当期純利益率
前回発表予想 (A)	4.4%	3.5%	3.4%
今回修正予想 (B)	5.5%	4.4%	4.0%
(参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月期)	2.9%	2.4%	3.6%

2. 修正の理由

今期は、収益性を重視した経営を推進するため、利益率の高い商品および販路への選択と集中を進めた結果、利益面においては、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、平成29年5月15日に上方修正を行った前回発表予想をさらに上回る大幅な増益となり、過去最高益を達成する見込みです。その結果、利益率においても、営業利益率、経常利益率、当期純利益率ともに前回発表予想および前期実績よりも大幅な改善となる見込みです。

主な要因は次のとおりです。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、キッチン雑貨を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、前年同期売上を大きく上回り、中でもデザイン性に優位性のある「ホットプレート」が売上を伸ばしており、「セラミックコート鍋」等のホットプレートのオプション商品も計画を上回ることとなりました。住関連ライフスタイル商品小売事業につきましては、直営店舗を3月以降テラスモール湘南、渋谷東急東横、八重洲地下街、名古屋高島屋、ペリエ千葉、ららぽーとEXPOCITY、関西国際空港と次々と出店し、ほとんどが好調に推移しております。Eコマースにおいては戦略的に広告宣伝による販売強化を進めてきた結果、売上が前期よりも大きく上回りました。またデザイン関連手数料収入が増加したこと、特価商品販売が計画よりも上回ったこと、コスト管理の徹底により計画以上に生産性を向上させることができたことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高、大幅な増収増益の達成の見込みです。

当社の強みである商品開発力を生かした自社ブランド商品、インテリア雑貨ブランド「ブルーノ」、トラベルグッズブランド「ミレスト」、オーガニックコスメブランド「テラクオーレ」に対して積極的に広告宣伝を投下し、ブランド認知率を高めてきた結果、自社商品売上比率が高まり、利益率が向上してきております。小売事業につきましては、複数ブランドを取り扱うハイブリッド型店舗や新業態のギフトショップの出店を加速化させることで、収益拡大が見込めると考えております。Eコマースにつきましては引き続き積極的な広告を実施し、ECモールへの出店を加速化させることで大きく収益を伸ばせるものと考えております。またRIZAPグループのシナジーを生かし、グループ各社へ積極的に商品・デザイン等の提案を行なうことで、さらなる収益の拡大を見込んでおります。

(注) 上記の通期業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上